

2020年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅看護の方法 I	科目区分	統合分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2 年前期
担当教員：羽賀紀子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関で実務経験のある教員が講義を行っている					
<<科目目標>> 学習目的：疾病や障害があってもその人らしい生活を支援できるように、在宅看護過程の特徴、安全と危機管理、日常生活援助におけるアセスメントや技術を学ぶ 学習目標：1. 在宅看護過程の特徴を理解する 2. 在宅におけるリスクマネジメント、災害対策を理解する 3. 在宅における日常生活援助技術、ストーマ管理、褥瘡管理を理解する					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材(教科書)及び参考図書>> ① ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 強みと弱みからみた在宅看護過程 医学書院					
<<授業外における学習方法>> 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する。					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	在宅看護過程の特徴、情報収集項目			講義
2	2	情報整理とアセスメント			講義・演習
3	2	看護課題の考え方、目標設定と評価の視点、記録			講義・演習
4	2	在宅看護における安全と危機管理			講義
5	2	日常生活における安全管理			講義
6	2	感染予防、災害対策			講義
7	2	生活を支える基本的な技術(コミュニケーション、環境整備、生活リハビリ)			講義
8	2	日常生活を支える看護技術(食生活のアセスメントと援助)			講義・演習
9	2	日常生活を支える看護技術(排泄のアセスメントと援助)			講義・演習
10	2	日常生活を支える看護技術(清潔のアセスメントと援助)			講義・演習
11	2	日常生活を支える看護技術(呼吸のアセスメントと援助)			講義・演習
12	2	日常生活を支える看護技術(移動のアセスメントと援助)			講義・演習
13	2	療養を支える看護技術(ストーマ管理)			講義
14	2	療養を支える看護技術(褥瘡予防と管理)			講義
15	2	療養を支える看護技術(足病変のケア)			講義

2020年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護の方法Ⅱ	科目区分	統合分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位（時間）	1（30）	開講時期	2年後期
担当教員：木下 典子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
<<科目目標>> 学習目的：在宅における医療的援助の基本的なアセスメントや援助の方法を学ぶ 学習目標：1. 在宅における医療処置にともなう生活行動支援を理解する。 2. 在宅で対象となる主な疾患を理解し、療養者・家族への援助を理解する。					
<<成績評価の方法>> 筆記試験・課題					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> ① ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版					
<<授業外における学習方法>> 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	医療ケアの原理原則			講義
2	2	排尿ケア・膀胱留置カテーテル			講義
3	2	膀胱留置カテーテル演習			演習
4	2				
5	2	排痰ケア			講義
6	2	気管カニューレ管理			講義
7	2	在宅酸素療法			講義
8	2	在宅人工呼吸療法（NPPV・TPPV）			講義
9	2	薬物療法・インスリン自己注射管理			講義
10	2	がん外来化学療法・疼痛管理			講義
11	2	在宅経管栄養法			講義
12	2	在宅中心静脈栄養法			講義
13	2	在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法患者の看護			外部講師
14	2	訪問看護の実際			外部講師
15	2	ターミナルケア			講義

2020年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護の方法Ⅲ	科目区分	統合分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2学年	単位（時間）	1（15）	開講時期	2年後期
担当教員：羽賀紀子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関で実務経験のある教員が講義を行っている					
<<科目目標>> 学習目的：さまざまな療養者と家族、取り巻く環境や状況に応じた訪問看護のDVDを視聴し、既存の知識と結びつけ、在宅看護の実践を学ぶ 学習目標：1. 療養者と家族の希望に着目し、背景や経過から生活上の課題を検討する 2. 対象の特性に応じたアセスメントと、今後を予測した看護介入を検討する 3. 療養者と家族の状況に対して活用できる社会資源を理解する					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> ① ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③ 強みと弱みからみた在宅看護過程 医学書院					
<<授業外における学習方法>> 予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読し、理解を深める					
<<履修に当たっての留意点>> DVDを視聴しワークをする方法で進めます。事前学習をして受講してください。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	事例① 糖尿病の自己管理が必要な高齢女性 独居 初回訪問			講義・演習
2	2	事例② 事故により中途障害者（頸髄損傷）となった成人男性			講義・演習
3	2	事例③ 慢性呼吸器疾患でHOTと夜間NPPV使用の高齢者			講義・演習
4	2	事例①～③のまとめ			講義・演習
5	2	事例④ 地域で生活する重症心身障害児			講義・演習
6	2	事例⑤ 在宅で終末期を迎える療養者と家族			講義・演習
7	2	事例⑥ 在宅での生活継続を希望する精神疾患をもつ療養者			講義・演習
8	1	事例④～⑥のまとめ			講義・演習